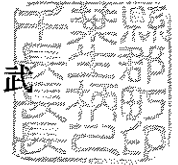




長事地第 365 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

長柄町長 成 嶋 尚 武



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号により依頼のありました標記の件について、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県長柄町

○国・県・市町村の道路整備に向けた一体的な取り組みに向けた組織・体系づくり

1 今日までの課題

今日までの道路行政は、国の道路整備計画・県の計画・市町村計画の順に上位の計画ありきのルールであった。

国の描くグラウンドデザインは、どちらかというと大手のシンクタンク等に委託をし、その時代のメディア等が先導するトレンドにあった画一的な計画であって、地方の意見からのボトムアップを重視したり、地域の素地が十分認識されないところでは計画書が作成されていたのではないだろうか。

もちろん、国は県に県は市町村に計画書の意見についてその都度照会若しくは説明をするのであるが、市町村も計画ありきということで地域の特徴を最大限計画に盛り込んで努力をしていなかった。

結果、どの計画も筋書きはほぼ同一のもので、各地域の特色を生かしたメリハリのある道路行政が展開されなかったのではないだろうか。

2 今後改善すべき点

現在、道路構造令については画一的な基準から地方にあった柔軟な基準へと見直しを進めているとのことであるが、このことで地方は地域の特徴に合わせた道路づくりを展開できる。

また、道路計画の策定にあたっては、国・県・市町村は協働で地方分権の理念に則り、各地域の実情にあった計画づくりに一体的に取り組む場を創ることが必要であると考え。

今後の道路行政についての意見・提案
②－１ 地域の抱える現状と課題

様式②

千葉県 長柄町

○ 現状 ・ 今日までの道路事業により町道の改良率、舗装率共に幹線についてはほぼ全線に近い一次整備が済んだところであり、一定の成果もあがった。しかしながら、現在は整備した道路の老朽化が目立ってきており、維持費の増大に伴う財源の不足が深刻化している。 ・ また、一次の整備が済んだものの、町の高齢化率も26パーセントであり今後急激に交通弱者が増大することとなる。	○ 課題 ・ 市町村の管理する道路は、血管にたとえたと末端の毛細血管のすべでであり、この維持管理費は今後永久に増えつづけることが明らかであり、その財源は現在の地方交付税の仕組みの中ではとても対応できない状況である。 ・ 地方の状況にあった交通安全施設等の整備事業の重要性が高まることが予想されることに伴う財源の確保。
--	--

今後の道路行政についての意見・提案

②ー２地域の目指すべき将来像

千葉県 長柄町

○ 国、県道について

- ・ 高規格広域幹線の各インターチェンジと地域の国道、県道、幹線町道が一体的にネットワークされた道路網環境の創出。（インターごとに関係する国県の出張所等と関係市町村行政が協働で道路ネットワークマスタープランを作成する。）

○様式②で記述したように大きな課題としては

- ・ 老朽化した町道の維持管理
- ・ 高齢化社会での交通弱者に配慮した道路環境の整備

であり、今後、老朽化した町道の維持管理事業のスケジュールに併せ柔軟な手法による交通安全施策を展開し、本町の事情にあった道路環境を創出する。（都市部と地方部の交通弱者に対する整備の技術指針は、すべてが一律の考えではなく、道路周辺の地理的・社会的状況で柔軟に、また経済面でも合理的に考えてよいものと思料する。）